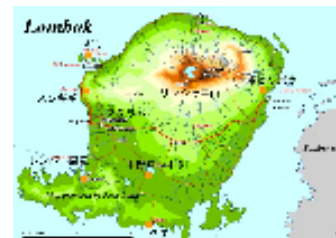


ロンボク・レポート

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

第30号 2012年8月発行



この時期になると毎年同じことを書いてしまいましたが、暑いインドネシアでも乾季は湿度が低く、朝晩は少し涼し過ぎるくらいで、夜もエアコンがあまり必要なく、年間で最も過ごしやすいシーズンとなっています。

よって、乾季の暑く晴れた昼間に海やホテルなどのプールで泳いだりしているときは最高なのですが、日が沈むころや少し雲が出て陰ってくると、水着姿などでは結構涼しい(寒い)ので、少し注意が必要です。多くの現地人が風邪をひくのもこの時期が多いようです。

以上は、産業もほとんどなく、緑が多く空気が澄んでいる海のリゾートのバリ島やロンボク島の話です。でも、さすがに大都市ジャカルタは、東京よりは緑は多いのですが、やはりコンクリート・ジャングルで乾季といえども少し暑く感じます。



ロンボク州都マタラム市内にあるマユラ水の宮殿跡

日本の方々は、8月の暑い日本からまた暑いインドネシアへわざわざ行きたくないと思われるかもしれませんが、夏の軽井沢に行ったような感じもありますので、ぜひ一度はこの時期にインドネシアを訪問してみてください。

こんな季節なので、日中の海のリゾートで過ごすのも最高なのですが、たまには動いて遺跡などを訪れることもお勧めです。

ロンボクは16世紀ごろにイスラム教が入り、基本的に遺跡などはなかったのですが、17世紀に西隣のバリ人がロンボクに進出し、18世紀中ごろにはバリ王国の一つ、カラガスン王朝がロンボク全域を統治する時期がありました、この王朝が建てた宮殿跡や離宮跡が少し残っています。

ロンボク州都マタラム市内にはマユラ水の宮殿跡、マタラムから東に約10kmの所にはナルマダ離宮跡があります。また、マユラ水の宮殿跡の隣には、ロンボク島のヒンドゥー教総本山、メル寺院があります。

そのほかにも、リンジャニ山の麓にあるヒンドゥー教とイスラム教の合体神が奉られているリンサル寺院、スングギ・ビーチ近くのバトゥ・ボロン寺院などがあります。ロンボクにある寺院の場所は、地域が集中していますので1日あればほとんどの寺院は回れてしまいます。



マユラ水の宮殿跡隣りにあるヒンドゥー教総本山・メル寺院



ナルマダ離宮跡

★マリーナ・スポーツが満喫できるギリ・メノ& Casablanca にぜひお越しください★

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

Casablanca のお問い合わせは、 shimaint@r4.dion.ne.jp へ